

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	事業評価	A B C D評価			今後の展開・改善点等	備考		
指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値	自己評価				調査結果	満足度	補足			目標	現状維持
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者に対して、巡回相談指導や窓口相談指導を通して、経営改善普及事業を効果的かつ円滑に実施する。	・巡回窓口指導案件数979件（うち非会員263件） ・巡回窓口指導延件数1,849件（うち非会員322件） ・課題解決提案件数 72件 ・経営革新承認件数 4件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 181.3 %)	1020	1849	指標 課題解決提案件数 (達成度 144.0 %)	50	72	巡回・窓口指導において小規模事業者の抱える課題に対して、補助金や融資等の活用により提案をし、経営改善の手助けができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き小規模事業者の経営改善を目的に、巡回・窓口指導を行う。	○
記帳継続指導	記帳から決算及び申告まで一切の実務について、継続的に分かりやすく指導する記帳継続指導を実施する。	・指導対象者数15件 ・指導日数134日 ・指導回数138回	管内小規模事業者	指標 指導事業所件数 (達成度 50.0 %)	30	15	指標 (達成度 %)			新規青色申告者などに対して、記帳から決算および申告までを指導することにより、自主記帳能力の養成に寄与できた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き新規青色申告者などの自主記帳能力養成を目的に、記帳継続指導を行う。	
講習会事業	地域中小・小規模企業者等にとって必要な知識の普及や啓発並びに技術の習得、時事的な問題への啓蒙を図ることを目的に行う。	講習会開催回数及び参加者数 ・集団指導延47回延200名（うち経営革新1回1人） ・個別指導31回573名 計78回 773名	小規模事業者	指標 集団指導延参加者数 (達成度 160.0 %)	125	200	指標 個別指導延参加者数 (達成度 91.5 %)	626	573	講習会を通じて、小規模事業者が経営に必要な知識を身に付け、経営基盤の安定強化を図ることができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き小規模事業者の経営課題解決に資する、講習会事業を行う。	○
若手後継者等育成事業	若手経営者及び後継者（青年部）女性経営者（女性会）等の自己研鑽、啓蒙活動を通じて資質向上を図り、企業及び地域社会の発展を図る。	・定期総会 ・合同公開講演会 ・理事会等 ・第32回東海ブロック大会刈谷大会（実施事業合計数：29回）	管内中小・小規模事業者等を中心とする青年部員・女性会会員	指標 実施事業合計数 (達成度 145.0 %)	20	29	指標 (達成度 %)			青年部・女性会：自己研鑽・相互啓発活動を通じて知識・知恵を習得し、地域経済に寄与できた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	今後も引き続き青年部・女性会の自己研鑽・地域貢献を目的に、若手後継者等育成事業を行う。	
地域産業祭事業	刈谷市とともに「刈谷産業まつり」を開催し、地域の経済活動を促進して地域産業のPRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図る。	刈谷産業まつり11月2～3日 出展社数：57社 来場者数：26,000名 ・事業運営に関する会議、支援 ・参加事業所5社の需要動向調査支援 ・年金・働き方改革個別相談	碧海地域の中小・小規模企業者等	指標 来場者数（刈谷市発表） (達成度 104.0 %)	25,000	26,000	指標 (達成度 %)			今年度、商品力・サービスの向上を図るためのアンケート調査を実施し、小規模事業者の需要動向調査の支援につなげた。年金・働き方改革個別相談会を行い、働き方改革の認識の向上に努めた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き社会貢献活動を目的に、地域産業祭事業を行う。	○
商店街振興事業	刈谷市・刈谷市商店街連盟との連携を軸に、経営課題解決伴走型支援「かりやビジネス創造塾事業」や「かりや商業まつり」等を展開し、「個人消費の拡大」及び「販売促進」に結びつく事業を展開する。	・刈谷市商店街連盟の理事会に出席し、組織力をもった指導をする。 ・かりやビジネス創造塾25店・かりや商業まつり105店・刈谷市プレミアム付商品券323店（参加店舗合計：453店）	管内中小・小規模事業者等	指標 参加店舗合計 (達成度 258.9 %)	175	453	指標 (達成度 %)			刈谷市委託事業として、「かりやビジネス創造塾事業」で経営課題伴走型支援の実施と「かりや商業まつり」の実施により参加店の経営課題解決、販売促進や個人消費の拡大に大きく貢献した。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き参加者の販売促進などを目的に、商店街振興の3事業を行う。	○
街づくり事業	広域的な交流拠点都市という位置づけを特性として捉え、商業等の活性化など、地域生活者の観点に立ち、誰もがいきいきする生活空間づくりを行う。	・都心交流エリアワークショップ（10回）・福祉交流エリアワークショップ（10回） ・かりや商人大学 23回 ・かりや商人大学大学院2講座（延4回） (合計開催回数47回)	管内中小・小規模事業者等	指標 開催回数 (達成度 104.4 %)	45	47	指標 (達成度 %)			「かりや商人大学」と専門性の高いシリーズ化した「かりや商人大学大学院」は、受講者からの評判も大変よく、中心市街地の賑わい創出に寄与できた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	今後も引き続き市街地の賑わい創出を目的に、街づくり事業を行うが、新型コロナウイルスの影響により講座数を減らす。	○
地域産業活性化事業（創業人材育成事業）	創業予定者等に対して支援事業を実施し、新規開業の促進等を図ることによって、地域経済の活性化に寄与する。	創業支援セミナー開催（1回 参加人数6名）	創業希望者等	指標 参加人数 (達成度 40.0 %)	15	6	指標 (達成度 %)			今年度も、愛知県信用保証協会、刈谷市等との共催により開催し、受講生の満足度も高く大変有意義な事業となった。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き創業希望者の創業支援を目的に、創業人材育成事業を行う。	○
商談会事業	ビジネスマッチング事業を実施し、企業交流の場の提供、ビジネスチャンスの創造等を行う。	三河・知多地域商談会参加企業数 9社 アライアンス・パートナー参加企業数 8社 (参加企業合計数：17社)	管内中小・小規模事業者等	指標 参加企業合計数 (達成度 113.3 %)	15	17	指標 (達成度 %)			地域商談会とアライアンス・パートナー発掘市を開催し、ビジネスチャンスの創造及び有益な情報交換に貢献できた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続きビジネスチャンス創造などを目的に、商談会事業を行う。	○
雇用促進事業	優秀な人材の確保を目的に、進路指導主事等との情報交換会等を開催し、企業の繁栄、地域経済の発展に寄与する活動を展開する。	・刈谷合同就職フェア（25社） ・理工系大学教授等との情報交換会（26社） ・企業合同説明会 西三河地区合同（中止） 刈谷安城知立高浜東浦（中止） 刈谷工業高校（26社） 知立高校（中止）高浜高校（中止） ・優良従業員表彰（50社） (参加企業合計数：延127社)	管内中小・小規模事業者等	指標 参加企業合計数 (達成度 127.0 %)	100	127	指標 (達成度 %)			慢性的な人手不足を背景に、円滑な雇用促進を図ることを目的に、エリアや対象者を様々な設定した企業合同説明会と理工系大学教授との情報交換会を開催した。企業の雇用確保に貢献することができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き企業の雇用確保などを目的に、雇用促進事業を行う。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					
青年部・女性会事業	会員相互の親睦を図ることに より、組織の強化育成をす ることで地域社会の発展と社会 に奉仕することを目的とした 活動を展開する。	例会等（合計16回）	管内中小・小 規模事業者等 を中心とする 青年部員・女 性会会員	指標 実施事業合計数 (達成度 133.3 %)	指標 (達成度 %)	経営者自身の自己研鑽や 会員相互の親睦の場とし て有意義な活動を行い、 地域社会への貢献や地域 経済に発展に寄与した。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き企 業の青年部・女性 会の会員相互の親 睦などを目的に、 青年部・女性会事 業を行う。			
部会・委員会事業	部会事業は適切な改善発達を 図るための様々な事業を展開 する。委員会事業は意見集約 や政策提言等を行い、地域経 済社会の振興に資する事業を 展開する。	・工業第一・二部会、商業第 一・二部会、サービス第一・二 部会の事業（計34回）・部会親 睦ソフトボール大会（1回）・ 部会長会議（中止）・運営委員 会、中小企業活性化委員会の開 催（計5回） （合計40回）	管内中小・小 規模事業者等	指標 開催回数合計 (達成度 97.6 %)	指標 (達成度 %)	部会事業では、各部会が 独自の研修会等を開催 し、経営向上に資する活 動ができた。委員会事業 では各委員から意見を頂 き、事業展開に生かすこ うができた。	総合評価 B	事業 実施 評価 B	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き経 営向上などを目的 に、部会・委員会 事業を行う。新規 に経営発達支援事 業評価委員会を開 催する。	○		
福利厚生事業	経営と雇用の持続的な安定を 図るため、各種共済制度の普 及拡大を行い、企業の健全な 育成に資する。	・共済事務処理、共済推進会 議への出席、巡回指導・窓口 指導等による普及拡大（共済 制度加入事業所数：678事業 所）・健康診断実施	管内中小・小 規模事業者等	指標 共済制度加入事業所数 (7レミ7A共済) (達成度 96.9 %)	指標 (達成度 %)	企業の経営者及び従業員 等に対する福利厚生とし て各種共済制度への加入 により、経営と雇用の安 定を図った。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	今後も福利厚生に 資する目的に、業 業を行うが、廃業 等により事業所数 の減少があるため 目標を下げる。			
労働保険事業	中小・小規模企業者の事務処 理の負担を軽減し、労働保険 の適正な加入促進及び労働保 険料の適正な徴収を図る。	・労働保険事務組合業務全般 （指導事業所件数：185件） ・労働保険事務組合連合会等 会議・研修会等に参加	管内中小・小 規模事業者等	指標 指導事業所件数（事務組合数） (達成度 137.0 %)	指標 (達成度 %)	中小・小規模企業者の事 務処理の軽減を図り、労 働力の安定的確保並びに 労働条件の向上を図るこ うができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き企 業の労働保険の事 務処理軽減目的 に、労働保険事業 を行う。			
税務関係団体指導 事業	中小・小規模企業者等の経営 者等に、税知識等の普及と正 しい税の理解者・協力者の拡 大に寄与する。	刈谷青色申告会、刈谷青色申 告会連合会、（公社）刈谷法 人会、（公社）刈谷法人会刈 谷支部等総会・役員会等への 出席（事業実施回数：30回）	管内中小・小 規模事業者等	指標 事業実施回数合計 (達成度 150.0 %)	指標 (達成度 %)	中小・小規模事業者への 正しい税知識等の普及、 電子申告の普及拡大に役 立った。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き正 しい税知識等の普 及を目的に、税務 関係団体指導事業 を行う。			
産業団体等指導事 業	（一社）刈谷労働基準協会刈 谷支部では、労働条件の改善 等の向上に寄与する事業を行 うことにより、小規模企業者 等の産業の健全な発展等に寄 与する。	刈谷労働基準協会の事業運営 のサポート（構成員事業所 数：298事業所）	小規模事業者 を始めとする 団体の会員	指標 構成員事業所数 (達成度 102.8 %)	指標 (達成度 %)	時勢に合った講習会を積 極的に開催することによ り、会員企業の体質改 善、従業員等の労働条件 等の向上に寄与した。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き企 業の体質改善、従 業員等の労働条件 等の向上を目的 に、産業団体等指 導事業を行う。			
人材育成事業 （新開発マネジメ ント事業）	モノづくり企業の自動努力等 を支援するために、様々な分 野の専門家による実務的な講 習会の開催や企業訪問指導等 の実施により、経営支援体制 を強化する。	「刈谷モノづくり大学」専門 家派遣による指導・相談。社 内研修会の実施。（参加事業 所数：62社）	管内中小・小 規模事業者等	指標 参加事業所数 (達成度 124.0 %)	指標 (達成度 %)	「刈谷モノづくり大学」 では専門家を直接事業所 へ派遣し、問題を洗い出 し、解決策を提示するこ とで経営問題の改善に資 することができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き企 業の経営課題解決 提案を目的に、新 開発マネジメント 事業を行う。	○		
地域振興祭事業	刈谷わんさか祭りにおいて会 場内で協賛企業の名前を披露 されることは広告効果も大で あり、地域活性化に寄与す る。	刈谷わんさか祭りの開催 (8月16・17日)来場者数 157,500人)	わんさか祭り (花火大会) 協賛企業並び に市内飲食業 者等	指標 来場者数 (達成度 131.3 %)	指標 (達成度 %)	今年度も、災害や緊急時 に働く車両の展示のほか 自然災害応援フェアを実 施し、祭りによる地域活 性化に加え市民の防災の 意識付けをすることがで きた。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 廃止する 実施方法 廃止する	新型コロナウイルス の影響により中 止となった。	○		
人材育成事業 （検定等支援事 業）	商工会議所法に基づいて全国 統一の基準により実施する検 定試験は、実務に直結する知 識やスキルを重視しており、 企業が必要とする人材育成に 寄与する。	日本商工会議所検定試験（珠 算3回、簿記3回、リテール マーケティング2回） 東京商工会議所検定試験（福 祉住環境コーディネーター2 回、カラーコーディネーター 2回、ビジネス実務法務2回、 e c o 2回、ビジネスマネ ジャー2回）（開催回数合計 18回）	検定受験申込 者	指標 開催回数合計 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	各種検定試験を開催す ることにより、企業が求 める人材の知識習得やス キルの向上に資するこ うができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き企 業が求める人材の 知識習得やスキル の向上を目的に、 検定等支援事業を 行う。			
調査・広報事業	・L O B O 調査は景気対策等 に関する商工会議所としての 意見活動などに資する。 ・刈谷あきない倶楽部は、企 業の独自の製品・サービスの 紹介により営業活動の一助と なる。	・L O B O 調査（調査回数： 12回） ・ホームページ「刈谷あき ない倶楽部」、会報、ホーム ページ等作成	管内中小・小 規模事業者等	指標 調査回数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	L O B O 調査は、地域の 中小企業等が感じる景況 を把握し、会議所事業に 役立ち、刈谷あきない倶 楽部では、参加店の営業 活動の一助となるこ うができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	今後も引き続き中 小企業の景況把握 等を目的に、調 査・広報事業を行 う。	○		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。